

地域・在宅看護学実習	3年・前期	2単位 2週間	講師 田村香奈 他
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33210653

### 1. 授業のねらい・概要

学生は、地域における在宅療養者とその家族の生活実態や支援体制を理解し、療養者のQOL向上に向けた看護の役割を学ぶ。また、多職種との連携や地域包括ケアシステムにおける看護職の機能、在宅看護に必要な倫理的配慮と専門職としての態度を習得する。

### 2. 到達目標

1. 在宅療養者とその家族の生活や価値観を理解し、尊重する態度を養うことができる。(D-2)
2. 在宅療養者とその家族の生活実態を4つの側面（身体的、心理的、環境・生活、家族・介護の状況）からアセスメントし、健康課題を把握することができる。(D-2)
3. 在宅療養者とその家族に応じた個別的な看護を展開し、看護過程を実践することができる。(D-2)
4. 多職種連携と地域資源の活用を理解し、地域包括ケアにおける看護職の役割を多角的に説明することができる。(D-3)
5. 実習生としての自覚を持ち、倫理的配慮と専門職としての基本的態度を実践できる。(D-1)

### 3. 授業の進め方

訪問看護ステーション、通所介護事業所で実習を行う。実習前に事前課題を提示する。実習終了後に理解確認試験を実施する。

### 4. 授業計画（実習/実技）

- |  |
|--|
| 1. 実習期間：3年前期，2週間                                       |
| 2. 実習施設：群馬県内の訪問看護ステーション・通所介護事業所                        |
| 3. 訪問看護師の同行訪問実習・在宅療養における事例学習（看護過程の展開）<br>通所介護サービスの参加実習 |
| 詳細は実習要項参照  |

### 5. 成績評価の方法・基準

実習評価 80%，知識確認試験評価 10%および実習終了時理解度確認試験 10%で総合的に評価する。なお、実習評価 60 点以上，試験評価 60 点以上を合格とする。

### 6. テキスト・参考文献

- テキスト：1) 石田千絵他：ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア（第8版），メディカ出版，2025.
- 2) 石田千絵他：ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術（第3版），メディカ出版，2025.
- 参考文献：1) 河原加代子他：系統看護学講座専門分野 地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤（第6版），医学書院，2022.
- 2) 河原加代子他：系統看護学講座専門分野 地域・在宅看護論 [2] 地域・在宅看護の実践（第6版），医学書院，2022.
- 3) 正野逸子他：関連図で理解する在宅看護過程（第3版），メヂカルフレンド社，2025.

- 4) 押川真喜子：写真でわかる訪問看護アドバンス（新訂第2版），インターメディカ，2023.
  - 5) 池西静江他：地域・在宅看護実習クイックノート（プチナース），照林社，2023.
- および，既習の授業で配布された資料

## 7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

事前学習として，在宅ケアに関する関連制度，社会資源，地域・在宅看護の対象・疾患・特徴，訪問看護ステーションの機能・役割，地域包括ケアシステム（地域包括支援センターの機能・役割含む），日常生活援助技術・基本技術について実習開始までにノート等にまとめる。

実習前に基礎知識評価試験を，実習終了後に知識確認試験を行なう。

実習中の学びを実習記録に記述し，実習終了後に実習全体の学びについてレポートにまとめる。

## 8. 受講上の留意事項

訪問看護の実際について学ぶことのできる貴重な機会である。短期間であるため事前学習を十分に行わない，プライバシー保護，人権尊重など倫理的課題について考えて実習すること。

## 9. 課題に対するフィードバックフィードバック方法

提出された事前学習は教員が確認して返却する。内容が不備なものは再提出を求める。

## 10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。

## 11. 実務経験のある教員等による授業科目

医療機関における看護師としての実務経験，行政機関及び医療機関における保健師としての実務経験を活かして，実習の指導を行う。